

え方等について質問しました。

果的な包括連携協定について検討していく。

◆**実現に向けた機運の醸成は**

カーボンニュートラルの実践に当たっては、エネルギー等に関する幅広い知見や事業者が省エネ化を実施するための資金供給など、自治体だけではカバーできない分野も多くある中で、近年、地方自治体と民間企業とがカーボンニュートラルに関する包括連携協定を結ぶ事例が増えてきています。

◆**森林分野のJークレジットへの取り組みは**

県土の約7割が豊かな山林に恵まれている本県が率先していくものが森林経営活動等を通じてJークレジットであると考えますが、2023年6月時点で登録状況は本県では3件と少ない状況にあります。

【**生活環境部長答弁**】  
カーボンニュートラルの実現には、県民一人ひとりの行動変容を促す機運の醸成が大切です。県民運動として取り組むため「おおいたつくし作戦県民会議」において幅広く議論してきました。本年度は、環境アプリ「エコふあみ」に自身の活動で削減したCO2排出量が確認できる機能などを追加し、ユーザー数の拡大を目指します。また、中小企業が脱炭素経営に取り組む契機となるよう県独自の新たな認証制度を創設し、取り組みの裾野を拡げていきます。地域の脱炭素化を進める上で効

【**農林水産部長答弁**】  
森林分野のJークレジットを広く普及し、森林の適切な管理に活用していくことは本県としては大変重要であり、早速、県有林においてJークレジットの登録申請に向け、約一千haの現況調査をスタートしたところであります。現在の試算では、二酸化炭素換算で年間約五千tの吸収量をクレジット化し、令和7年度から最長16年にわたる販売を計画しています。

【**教育長答弁**】  
教員不足については依然厳しい状況にあるが、解消に向け、働き方改革や職場環境の改善に取り組んでいく。加配措置の充



一人ひとり学びや暮らしが大切にされる社会に向けて

◆**障がい者の福祉の充実について**  
駅の無人化等に伴う障がい者等への安全対策について、どのように取り組んでいくのか。また、手話通訳者の確保に向けてどのように取り組んでいくのか。

◆**教員の確保や広域の人事異動について**  
教員不足の実態や原因について、どのように認識しているのか。また、産育休代替については、さらなる制度の拡充が必要だが、教員確保に向けた取組をどのように行っていくのか。教員不足の一因ともなっている「おおむね10年での3人地域」の広域異動」についての見直しの進捗状況はどうなっているか。

◆**企画振興部長、福祉保健生活環境部長答弁**  
県として、JR九州に対し、無人化に際しては、利用者への丁寧な説明や必要な安全措置を働きかけてきた。今年2月には、JR九州が視覚障がい者を対象に、バリアフリー設備の体験会や意見交換会を行っており、引き続き、このような場を設けるよう要請していく。手話通訳者については、今年度から、1時

◆**障がい者の福祉の充実について**  
駅の無人化等に伴う障がい者等への安全対策について、どのように取り組んでいくのか。また、手話通訳者の確保に向けてどのように取り組んでいくのか。

◆**教員の確保や広域の人事異動について**  
教員不足の実態や原因について、どのように認識しているのか。また、産育休代替については、さらなる制度の拡充が必要だが、教員確保に向けた取組をどのように行っていくのか。教員不足の一因ともなっている「おおむね10年での3人地域」の広域異動」についての見直しの進捗状況はどうなっているか。

【**教育長答弁**】  
教員不足については依然厳しい状況にあるが、解消に向け、働き方改革や職場環境の改善に取り組んでいく。加配措置の充

請願・意見書等の採択状況  
意見書の採択状況

請願・意見書等の採択状況	ク県クラブ	民主	公明	共産	志士の会	の無所属	日本維新	可
学校給食費の無償化を求める意見書	○	×	×	○	×	○	×	否
義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書	○	○	○	○	○	○	×	可
2023年度大分県最低賃金の改正等に関する意見書	○	×	×	○	○	○	×	否
地方財政の充実・強化を求める意見書	○	○	○	○	○	○	×	可

誰一人取り残さない社会や共生社会の実現に向けて、今後とも取り組んでいきたいと思っています。

間当たりの報酬を1700円から2500円に引き上げ、処遇改善をした。今後とも、手話通訳者の養成・確保にしっかりと取り組んでいく。ヘルパーについては、来年4月の報酬改定に、物価高騰分はもとより、職員の処遇改善分も確実に反映するよう、国に強く求めている。今後、諸施策を組み合わせながら、ヘルパー人材の確保に努めていく。